草原を渡る風 馬頭琴とホーミーの調べ



©photo by Toshihiro Ohtsubo

嵯峨治彦(馬頭琴·喉歌奏者)

「スーホの白い馬」で知られるモンゴルの弦楽器「馬頭琴」と、ホーミーなどの一人二重唱「喉歌」を演奏。モンゴル国無形文化財 Y.ネルグイから馬頭琴の後継指名を受け伝統音楽の継承に取り組む一方、朗読、演劇、舞踏など異分野とのコラボレーションも精力的に行う。おおたか静流と ASIAN WINGS、EPO ユニットAQUANOME、RAUMA(w/あらひろこ[カンテレ])、タルバガン(w/等々力政彦[トゥバ音楽])、野花南(w/嵯峨孝子[朗読])などの音楽ユニットで活動。松任谷由実、鼓童、上間綾乃ほかレコーデイング参加作品多数。2017 年、大瀧詠一カバーアルバム「NOMADIC VACATION」を井上鑑プロデュースでリリース。

演奏曲

験馬ジョノン・ハル (モンゴル伝統曲) 天の風 (南モンゴル民謡) 鳥の歌 (カタルーニャ民謡)

2019年

5月**18**日(土) 開場12:30 開演13:00 会場 有島記念館

料金 常設展観覧料のみで入場できます(来場者多数の場合は入場をお断りすることもあります) 「大人500円、高校生100円、中学生以下・65歳以上のニセコ町民は無料]

詳細については、有島記念館公式ホームページをご覧いただくか、電話(0136-44-3245)にてお問い合わせください。 主催 ニセコ町・有島記念館(北海道虻田郡ニセコ町字有島57)

